

平成 22 年度第 1 回花巻市総合計画審議会（会議録）

1 開催日時

平成 22 年 10 月 1 日（金）午前 10 時～午前 11 時 45 分

2 会場

花巻市役所本庁 3 階委員会室

3 出席者

花巻市総合計画審議会委員 16 名

市側：大石花巻市長、亀澤政策推進部長、市村企画調整課長、松田課長補佐、菅野行政経営係長、古川企画推進係長、伊藤上席主任、鎌田副主任

4 会議内容

（企画調整課長）

おはようございます。本日はお忙しいところご出席いただきましてまことにありがとうございます。暫時、進行を務めさせていただきます政策推進部企画調整課長の市村と申します。よろしくお願い致します。

はじめにお手元にお配りしております資料についてご確認させていただきたいと存じますのでお手数をおかけしますがよろしくお願いたします。一番上に第 1 回花巻市総合計画審議会と書いております、本日の次第がございまして次に花巻市総合計画審議会委員名簿でございます。次に右上に資料 1 と書いております花巻市総合計画の見直しについてという資料。つぎに同じく資料 2 の平成 22 年度行政市区評価実施フロー図。そして資料 3 の平成 22 年度まちづくり審議アンケート結果ダイジェスト版、資料 4 の平成 22 年度の施策評価結果でございます。資料 5 の事務事業評価についてという資料がございまして、最後に花巻市総合計画の概要版でございます。以上でありますけれども配布漏れはございませんでしょうか。

それでは、開会に先立ちまして大石市長より委員の皆様方に委嘱状の交付を行わせていただきます。お手元の配布の名簿順に私のほうで皆様のお名前をお呼びいたしますので、その場で委嘱状をお受け取り願います。

【1 開会】

（企画調整課長） それでは、只今から第 1 回花巻市総合計画審議会を開会いたします。議事に入ります前に本日の審議会は委員の皆様方の半数以上のご出席いただいておりますので花巻市総合計画審議会条例第 4 条第 2 項の規定によりまして会議が成立していることをご報告申し上げます。尚、本審議会の会議につきましては花巻市審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして公開としておりますのでご了承願います。それでは大石市長よりご挨拶を申し上げます。

【2 市長あいさつ】

（市長） 皆様、おはようございます。今日は本当にお忙しいところご出席を賜りましてありがとうございます。そして、審議会の委員の委嘱ということで快くお引き受けをいただきましたことを心から感謝を申し上げたいと思います。

今年の審議会は、皆様方にご苦勞をおかけするんですけども、本来であれば総合計画が出来上がってますから、計画に沿って、毎年、毎年の見直しをかけながら目標に向かって花巻市

のまちづくりを進めていくわけなんですけれども、当初、大分世の中変わるだろうな、という思いを持ちながら色々な指標等も設定したところですが、それ以上世の中の動きが早いです。大分指標がずれています。人口の状態から含めまして相当ずれておりまして、あとはこういう経済状況であります。そこで、ここで見直しをかけないともっともって誤差が生じてしまうだろうという思いで、今回、総合計画の見直しをかけるということになった次第であります。

従いまして、花巻市の根幹となる一番大事な計画でありますから、この審議会が最高位の審議会という位置づけになっておりますので、皆様方にお諮りを申し上げることが、まず大きな義務になりますので、どうぞ力仕事になるかもしれませんがご了承お願い申し上げたいと思います。

なお、計画の内容につきましては、全く新しいものを作るというぐらいのご負担をおかけするつもりはありません。計画にそぐわなくなってしまうところの見直し、計画全体の体系をもう少しわかりやすい形に並べ替えるという風に考えて下さって結構です。目指すべきところの本筋は、決して変わるものではないと思っておりますので、その辺のところを頭に入れながらご意見を頂戴いただきながら、どんどん修正をかけて正案に持って行きたいという風に思っています。

それとですね、実は合併してから時代も大きく変わりました、ただ予算を組んで計画を消化すればいいという時代では無くなりました。今は国の事業仕分けみたいですね、今までそれが正しいと思ったことすらバサバサと切っていくような時代です。これは致し方ないことだと思います。やはり、財政規模に合った形っていうのは常に求められるという観点から、今までやってきて携わってきていただいた方々に、本当に申し訳ないんですけれども見直すものは見直す、無くすものは、無くす。新たに造るものは造る、ということはやっていかないとならないだろうと思います。

行政内部でも事業の評価という事業自体の評価をずっとやってきたんですけれども、その結果が目標に生かされているかどうかという政策の評価。この政策がこういう事業をやったということによって本当に効果があったかどうかというような観点の仕組みを一生懸命、構築してまいりました。内部的には計画を立てて実行して、そして評価をして見直しをするというような一区切りが一循環いたしましたので、その辺のところを持って一度皆様方に花巻市がこれまで取り組んできた評価のやり方を、こういう形でやってますよと、これで良いでしょうかというようなことをお諮り申し上げたいと思います。ですから、やっぱりそうではなくてこの方が良いのではないかと、そういうことをどんどん教えていただきたいと思います。それによって、本当に良い形の評価の仕組みというのを最終的には構築していきたいと考えております。

今、一般に言われてます外部評価という言葉が何かどんどん飛び交っておりますけれども、そういうものに馴染むものと馴染まないものがやっぱりあるかと思っておりますので、それらをトータルで色々ご指導、ご助言をいただければ非常にありがたいなと思っておりますのでよろしくお祈り申し上げたいと思います。

私も非常に今回悩んだんですけれども、本当に皆様方お忙しい方々ばかりですから、そういう方々にあまり負担にならないように、だけでもやっぱり、皆さんの意見をどうしても頂戴したいという思いがありますので、これからの会のやり方についても、どうぞ忌憚のないご意見をおっしゃって下さい。ちょっとそこまでだと大変じゃないか、それは例えば別組織を作ってやったほうが良いのではないかと、とかそれを含めてどうぞ色々ご指導を賜りたいと思います。そういうことで本日は第1回目ということになりますが、これからの任期の2年間、どうぞ皆様方のご支援をお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

(企画調整課長) ありがとうございます。それでは、次第の3番目、会長・副会長の選出

でございますけれども、会長・副会長が選任されるまでの間、大石市長が暫時議事を進めさせていただきますのでよろしくお願いたします。

【3 会長、副会長の選出について】

(市長) それでは、しばらく私のほうで仮議長ということで進めさせていただきますのでご協力お願いたします。会長・副会長の選出の件でございますけれども、これも総合計画審議会の条例第3条1項において審議会に会長及び副会長一人をおき、委員の互選によって決めるということになっております。従いまして選出方法についてお話し申し上げたいと思っておりますけれども、どなたかご推薦ございませんでしょうか。

(藤沼委員) 3号委員の識見を有する者ということで富士大学の中村委員がいらっしゃると思いますので、中村委員でいかがでしょうか。

(市長) はい、わかりました。今、工業クラブの藤沼委員から富士大学の中村委員というご推薦がありましたけれども他に皆様方ご推薦ございますか。

それではお諮りいたします。ただいま、藤沼委員より中村委員がよろしいのではないかとのご提案がありました。これにご異議ございませんか。

多数の委員より「異議なし」との声。

(市長) はい、ありがとうございます。では、会長は中村委員ということでよろしくお願いたします。次に副会長でございます。副会長につきましても、どなたかご推薦ございませんでしょうか。

(藤沼委員) 同じく3号委員の、花巻市市民参画・協働推進委員会の照井委員にお願いしたいと思います。

(市長) はい。ただいま、照井委員ということでご提案ありましたが他にございますか。

それではお諮りいたします。副会長には市民参画・協働推進委員会の照井委員ということでご異議ございませんか。

多数の委員より「異議なし」との声。

(市長) それでは会長、副会長が決定になりましたので、私の役目はここまでとなります。ご協力ありがとうございました。

【4 諮問】

(企画調整課長) 続きまして、次第の4番目、諮問に入らせていただきます。はじめに今回の諮問の趣旨につきまして、事務局より若干説明させていただきます。本日、大石市長より審議会会長に花巻市総合計画の見直しにつきまして諮問いたしますが、花巻市総合計画の見直しにつきましては、今後、計画の見直し案をお示ししながら委員の皆様方の活発なご議論をいただきながら進めて参りたいと考えておりますことから、本日第1回目の審議会において諮問をいたすものでございます。それでは、花巻市総合計画審議会条例第1条の規定に基づきまして大石市長より花巻市総合計画審議会の中村会長へ諮問書をお渡しいたしますのでよろしくお願

いいいたします。

(市長) 花巻市総合計画審議会会長 中村良則様、花巻市総合計画見直しについて、花巻市総合計画審議会条例第1条の規定に基づき花巻市総合計画の見直しについて諮問します。よろしくをお願いします。

(企画調整課長) 諮問につきましては以上でございます。これ以降の議事につきましては花巻市総合計画審議会条例第3条第2項の規定によりまして会長が議長を務めることとなっておりますので議事の進行につきまして、中村会長と事務局で打合せのためここで若干休憩をとらせていただきたいと思います。尚、大石市長は次の用務がございますのでここで退席とさせていただきます。

(市長) どうぞよろしくお願いいいたします。

【5 議題】

(企画調整課長) それでは会議を再開させていただきます。次第の5番目の議題に入らせていただきますが、議題につきましては中村会長に議事の進行をお願いいたします。

(中村会長) それではこれから議事を進めさせていただきます。次第に従いまして花巻市総合計画の見直しについて、事務局から説明をいただきます。

(企画調整課長) 資料 1に基づき説明 (略)

(中村会長) 事務局の説明が終わりました。今の説明に関して何かご質問ございませんでしょうか。

(藤沼委員) いいですか。審議会の諮問ということなんですが、事務局側のほうで基本的にこれは変えられないんだというものもあるかと思うんですよ。これは変えられないんだけど、こういう状況になったから、こういうところで変えなければいけない。その2つを分けていただいでですね、その集中的に問題を提起していただけたならば皆さんも助かるんじゃないかと思うのですが。

(企画調整課長) はい、わかりました。それでは皆様お忙しい中でもありますし、全体に関わると大変な作業になるということで、審議会の委員の皆さんから聞きたいポイントはこの部分についてはどうだろうということではぼった形でやったほうがいいと、行政としてこの部分はもうこういう形で行きたいということはそれはそれでという形で、その聞きたい部分を明確にしながら進めたほうが効率的であろうということですね。では、そういう点に留意しながら進めさせて案の提示等はしてまいりたいと存じますのでよろしくお願いいいたします。

(中村会長) はい。他にどなたかございませんでしょうか。なければですね、僕のほうから一つ。この審議会に再任の方もいらっしゃるし、それから新任の方もいらっしゃいますね、そういった新任の方、僕も含めてそうですけれども、現在の総合計画は基本的にどういうコンセプトで何を目標としているかですね。それから、一体計画期間は何年までを目処にしているのか、そして新しい計画を練り直すとして、現段階での範囲内に入ると了解していいのか、簡単

でよろしいですから概要を教えてください。

(企画調整課長) それでは、現総合計画の概要について簡単にご説明いたしますので、お手元に配布の花巻市総合計画の概要版をご覧くださいと思います。めくっていただきますと1ページ、2ページのところに基本構想という形でありまして、将来都市像をまず掲げて「早池峰の風薫る 安らぎと活力にみちた イーハトープはなまき」という将来都市を目指すんだということが1番の大前提でございます。

それを達成するためのまちづくりの理念として「強くて優しいまちづくり」というものと、「市民参画・協働のまちづくり」というこの2つの基本理念が、将来都市像を達成するための2つの理念として掲げております。これが2ページ目の右側の上のほうに図がありますがけれども、将来都市像と基本理念というものをこういう形としてまず大きな柱として掲げております。

次に計画期間でございますけれども、総合計画につきましては平成19年度から27年度までを計画期間とするものでありまして、今の計画の構成といたしますと基本構想、基本計画そして実施計画という3つの形、3段階の構成になっております。

その政策体系につきましては2ページの先ほどの図の続きになりますけれども、基本理念を達成するためのものとして、6つの政策を政策体系として掲げております。地域からまちづくりという形で6つの政策を掲げておりまして、そして、1ページ下段になりますが、政策の次に施策という段階を設けておりまして、施策というものが31あります。施策については3ページ以降にそれぞれの説明がございます。

そして従来の総合計画にはなかった手法といたしまして、それぞれの施策に成果指標を掲げております。それぞれの目標を掲げて、計画の策定時に調査した現状値を計画の最終年度の27年度にはこういう目標に向かって進もうという、従来の計画にはなかった数値目標を掲げて取り組むというのが、この総合計画を策定する際に取り入れた新たな手法、行政評価の手法を取り入れてというのがそういう部分でございます。

こういう形でやっておりますけれども、先ほど市長の挨拶にもありましたが、基本構想で掲げる指標というのは、2ページ目の中断の紫色の囲みのところであります。人口と世帯数が基本構想の部分に掲げる主要な指標として掲げているものでありますけれども、その辺でもう下回っているという状況があるので見直しをかけたいというのがひとつと、そして先ほどの各施策のところにも成果指標として掲げているものについても、もうすでに目標を超えてしまっているものがあつたり、あるいは皆さんご存知のとおりこのような経済状況が続いておりますので、特に産業関係は頑張ってもなかなか数字が上がらないという部分もありますので、そこも見直しをかけて理想と現実の間の達成可能な部分に目標を再設定をすとか、あと指標自体が設定時とは状況が変わって把握できなくなつたりとか、うまく拾えないものとかがありますので、そういう部分で不具合が生じている人口等の主要指標についても見直しをしないと、そしてこの際構成自体を、もっと効率が上がるようにわかりやすくするように再編したいというようなことが、見直しの主旨となっておりますので、それにつきましてはこちらのほうで案をお示ししながら、先ほど、藤沼委員からお話しがありましたようにポイントとしてこの部分を良く見て欲しい、みたいな形で進めて行きたいと考えております。というのが大まかな計画の概要でございます。

(中村会長) はい、どうもありがとうございました。今の説明で計画の概要がよくわかったのではないかと思います。それからやるべきことも大分わかったような気がします。以上の説明をふまえて改めて総合計画の見直しについて何かご質問なりご意見なりありませんでしょうか。藤沼委員、どうぞ。

(藤沼委員) すみません、何度も。国勢調査が、今、始まるといってるんですけども、10万数千人というのは前回の国勢調査のことですよね。そうしますと国勢調査をしなくても市の大体の人口ってわかりますよね。毎年何人ぐらいが減少してるのかという点をですね、この辺をちょっと知らないと、どこにどのような配分が出来るかということが、皆さんわからないと思って。人口が上がってるのか下がってるのか、たぶん下がっていると思いますけれどもその辺のところを教えてください。

(企画調整課長) はい。全ての施策に影響するのが人口でございます。かつては人口は増えるという目標を掲げてきたのですけれども、実は2年ぐらい前から08年あたりから日本の人口が減少時代に入ったということで、今年10月今日現在で国勢調査をやるわけですけれども、そのとおり多分初めて減というのが出るだろうというのが報道されております。

花巻市については、どうかということですが、ご指摘どおり減という傾向がありまして、平成22年度には10万4千人くらいと計画策定時には見込んでいたのですが、それよりも1千人減り幅が強く、10万3千弱くらいという形の人口の推移になっておりますので、計画策定で見込んだ時よりも人口は減の時代になってきているということで市長も話しております。これからは縮小の時代に入っていくだろうから人口が減る。そうすると財政規模も当然小さくなるのが当然なので、その中でどういうまちづくりを進めていくかという部分が議論になるかとは思っておりますけれども、藤沼委員ご指摘の見込みとしまして減の傾向これは残念ながら続くだろうと、日本自体がそういう傾向ですので、花巻も同じように減の傾向が続くだろうとそれを前提で見直しということになりますのでよろしくお願いいたします。

(佐藤委員) 今のに付け加えて地区や地域で差があると思います。それでまちづくりが進んでいくんじゃないですか？今、市長が合衆市構想と言ってるのを聞いてると、27コミュニティ会議の単位で数値があれば、それなりの対応もあると思いますが。

(企画調整課長) 計画自体が地域計画という形ではありませんので、計画としてはそういう形ではないと思いますが、お示しするデータとしては27コミュニティ会議単位で出せるかどうか、そういう単位だとどういう経過をたどっているかというデータも、可能な限りそういうものもトータルのデータだけでなく、少し分けたものも可能な範囲で調整してデータをお示しする形でいきたいと考えております。

(佐藤委員) それからもう一つ聞きますけど、花巻は人口の割に面積が広いですね。そうすると同じ1万円を投資するのにしても、人口が集中しているところに投資すると非常に投資効果が高い。しかし、個別にいろんなところに出ちゃってると投資効果はないけれどもそこもなんとかしなきゃいけない、この辺の兼ね合いのことですよね、これをどういう風に考えて作成しているのかということ、その辺のこともひとつ考えてお願いいたします。

(中村会長) いろんな意見が出ました。人口が減っていく状況の中での計画。日本全体が人口が減って行く未来ですから、花巻が先取りしているんだと考えれば、地域は最先端にあるんだと思えばいいのかもしれない。それに合わせて、みんなが少しでも幸せになれる計画が基本なんだろうと思います。何を一体基準にして指標にするのかと、これが本当に大切なことだという風に思います。まだいろんなご意見ご質問があるかと思いますが、時間も限られているので先に進もうと思います。では、花巻市総合計画の進行管理についての、行政評価の概要に

ついて事務局より説明願います。

(企画調整課 松田課長補佐) 資料 2に基づき説明 (略)

(中村会長) どうもありがとうございました。審議会で10月に施策評価、事務事業評価について審議するという事は、これは毎年やるんですか？

(企画調整課 松田課長補佐) 今まで先ほど申し上げましたように、事務事業評価は一定の基準をもとに内部で計画を立てて、それを次年度以降に反映させる手法をとってきておりますが、やはり先ほどの市長の挨拶にもありましたとおり、内部だけではなく例えば外部でやるとしたらどうなるか、その可能性、必ずやるというものでなくてですね、この可能性や方向性といったものを委員さんのほうからご意見を伺って、来年の行政評価の進め方についてそれを検討していきたいと考えております。

(企画調整課長) 継続の委員の皆様は今年2月の審議会時に、施策評価についてはお示したわけですが、今年度はサンプリングになります。そのもう一つ下の具体的な事務事業についても初めてお示しするのですが、こういうやり方をしているということについても、審議会の皆様のご意見をいただきながらより良いものにしていきたいということ。

あと外部評価というのがよく例えば国ですと事業仕分けというのをよくやっていますけども、あれは削るためにやるという強い意志をもってやっているのですが、そういう影響もあって地方自治体でも外部の評価云々というのが取りざたされてきますので、花巻市では内部でこうやってきましたけども仮に外部のご意見を伺う方法とすればどんな方法がいいのでしょうかというところも、皆さんの意見をいただきながら、こちらのほうで仕組みを良いものに変えていきたいという主旨でのご意見を頂戴したいということでもあります。

(中村会長) どうもありがとうございました。それでは続きまして、まちづくり市民アンケート結果について、事務局より説明願います。

(企画調整課 松田課長補佐) 資料 3に基づき説明 (略)

(中村会長) どうもご苦労様でした。それではこちらアンケートという形ですけれども施策の進捗状況を把握して強みと弱みをはっきりさせるとこんなことだということですね。何かご質問ございますでしょうか。

(今井委員) これの地域性はどの程度でしょうか。抽出する段階から地域性を考慮しているのですか。

(企画調整課長) データをとる段階で年代別とか男女別とかという中に入りこんでの集計というものもデータとしてあります。かなり膨大な量にはなりますけど、クロス集計ということで年代別ではどうか、男女別ではどうかとか、あと居住地域についての質問もあります。表に出るのが全体の集計と継続者の集計ですけども、地域もどうかというデータの取り方をして、内容としてはかなり厚くしております。

(今井委員) 最初から地域性を考慮してらっしゃるってわけじゃないのですか。抽出した中で、

地域を把握して分析するというやり方でいいのかな。

（企画調整課長） 基本は先ほども言いましたけれども、地域別での計画ではなくて、総合計画、市全域の計画ですので、バックデータとしては、地域だけじゃなくて年代別男女別ではどうだろうと、じゃあ、どこに働きかければもっと効率が上がるかということでそういう分析はしておりますけれども、計画自体が市全域の計画という形になっております。

あとちょっと補足しますけども、成果指標としてこの基本計画に色々掲げておりますけども、基本的には客観的なデータが1番とればそれでよろしいわけです。けれども、色々な統計データで出荷額とか何とかいうものも取れば良いわけですが、それだけではちょっと取れないというところを市民アンケートで市民の皆さんの満足度という形で拾い上げております。

例えば、この基本計画1-6の指標でもいいんですが、インターネットの割合。利用できる環境がある割合とインターネットを利用している割合がありますが、こういうものは統計的に各世帯にケーブルが市内にADSLとか光が入ってるのは分かるのですが、それぞれの世帯が回線を引き込んでるかどうかというのはなかなか分からないもので、例えば、こういうのは抽出したアンケートであなたのお家はまずそういうひきこめる状態、家の前のところに引き込める光のケーブルとかADSLとか発してますかとか、そういう形がまずひとつあったり、実際に家庭内でインターネットを利用しているかということは、統計的には事業者それぞれデータがあるかもしれませんが、なかなか拾えないのでアンケートで拾いましょうというのがあります。

あとは満足度として、実施計画2-6の道路網の方では、統計的には市としては舗装率、改良率、みたいなデータは上げられる。しかし、それだけでいいだろうか、市民の皆さんが道路使いやすくなったよねという満足度も施策の目標達成度ををはかるためには単純に事業をこれくらいやったからという率だけではなくて、満足度で市内の道路網についてどうですか満足してますかというアンケートで、その満足度はどうだろうか。どちらかという、統計数値が上がっても満足度が上がらなければちょっと違うかなという部分もあると思いますので、そういう意味でアンケートをとりながら市民満足度を把握して目標を定めて取り組んでいるというのが、アンケートの主旨でございますのでよろしく願いいたします。

（押切委員） 私は初めてでございますのでよくわかりませんが、今のアンケートについて無作為状態で配布していると伺いましたが、回答の仕方はどういう感じですか？ただの×なのか、文章表現しているのか、その辺を伺いたいです。

（企画調整課 松田課長補佐） 回答につきましては郵送で送って郵送で回答していただくということで、記入方法は項目をこちらのほうで例えば、満足している、やや満足している、前と変わらないとか、ちょっと不満だとか、大いに不満だとか、要するに5段階評価ということで記入いただいております。その他に自由記載ということで、こういったところの政策をやった欲しいだとかこういったところは良いけどこういったところはダメなんじゃないかとそういったのは多くのご意見を自由記述でいただいております。

（押切委員） 具体的にはわからない、人間の気持ちもありますよね。

（企画調整課長） そうですね、そこで難しいところなんですね。例えば、私なら私でもいちいちの去年のバックデータをもってアンケートに答えるわけじゃないので、同じ私でも去年の答えた項目を今年また記入する時に、また見ながらやるのでそのときに違うところに がつく

かもしれない。気持ちは変わらなくてもそのときの感覚っていうものがあるでしょうから。アンケートの場合は、そういう若干のブレはあるだろうなと思いますけども、大体の市民の皆さんが大体満足しているかどうかの概ねの方向は出せるだろうという形であります。そういう意味では、いちいちじっくり考えてこれはこうだからこうでないという部分もアンケートにあるという感じです。

(佐藤委員) 合併して5年になりますよね。私区長会の会長なんですが、はっきり言って3町の動きが見えないんですよ。日々か日報をみてようやくわかるんです。そして今全体的なアンケートって言っても合併して5年になって全体的なんてね、なんかね旧町がほとんど見えなくなってるのが現実なんですよ。皆さんが言ってるように地域の意見とかをアンケートでまとめる必要があると思うのですが。

(今井委員) 全く同じ意見ですね。総合計画だからと言って全体のことだけではなく、その中から地域性を示すということも大事かと思いますが。

(政策推進部長) 地域性の関係の話ですけれども、まず一つはですね、今、アンケートの実施にあたり地域ごとに意識はしてないということでの話し申し上げたんですが、トータルの人口配分も含めあるいは年齢構成も含めてコンピューターを無作為に回していることなので、基本的には地域からも一定の割合で抽出されているということになるかと思います。そういう意味ではあの地域は何人とか、どこの地域は何人とかという決め方ではないんですが、全体を回してますので、その中にはその割合で入ってるってということでご理解いただきたい。

どうしても地域性を考慮しなきゃならない部分については、クロス分析をかけてやってる資料はございますし、できないことはないです。例えば、色々なクロスですね。多分、お話しただいてるのは地域が見えないというお話しを含めてなんですが、大きな意味での花巻市は一つなので一つという方向性は当然あると思っています。ただ形としてはですね、やはり例えばですが人口の増減にしても増える所は多分ないと思いますが、減り具合が少ない所とかなり大きく変化しているところ、それによつての対応の仕方というのは異なってくると思います。

そういう意味ではですね、ちょっと大きなレベルの話になりますが、今、コミュニティ会議等でそれぞれの地域でどうやっていきましょうかという構想をつくっていただいたものがありますし、それからそれを具現化しようとして一生懸命勉強していただいているという部分で、構想をそれぞれ見ていきますと、大変な高齢化になってきて10年先この集落で成り立つんだろかという危機感を持ったような考え方もあったりしますので、そういった意味でそれらと連動した形での総合計画の成り立ちかなと、これもある意味いわゆるバブル期と違った形の計画にはなつてはしまう、ただ、現実的には目を背けられない現実だろうと、主旨があつてるかどうか微妙なところもありますがいずれその部分も考慮はしていきたいという風に考えております。よろしくお願ひいたします。

(今井委員) 総合計画とはいえどもね、あるいは市が一緒になったということも理解できるんですけどね、やはり今の段階では地域ごとに例えば大迫からあるいは東和からあるいは石鳥谷から、見方に相当の違いがあるんじゃないでしょうか。もしそれが出てるのだったら、せめてその見方の違いがあるのだったら、知らせてもらつても良いのかと思うんですよ。

(中村会長) この話は根本に関わる話だと思います。多分あと何時間経つても終わらない話だと思うのです。アンケートと数字だけでは見えて来ない人の気持ちっていうのが多分あると

思います。もう一つ花巻が合併したことで、花巻の顔みたいなのがみんな実はわかってるようでわかってないって気持ちもどかしいのはどこかにある。花巻全体の総合計画だから顔の動作の細かいところはしゃべらない、顔の大きな全体のところはしゃべれるけれども動作の細かいところはしゃべらないとなれば、やっぱり地域性に配慮が欠けることですから、この地域の発展を市民全体どう考えていくか。総合計画の中でどの程度反映できるのか、これはこの審議会の中で検討すべき課題なのではないかと思います。もう一つは、市民アンケートというものはむしろ、他の地域ではやってないかもしれない重要な取り組みだと思うのです。こういうふうにやってみただけでもこれだけでは足りないというのも現実に事実だと思うのです。市の行政で把握していく仕組みというのをですね、よりきめ細かく構築することも審議会の一つの検討課題なのではないかと思います。

あともうひとつ、アンケートの結果ですね、6つの政策ごとにどの分野がどれだけ進んでいるのかを数値で出していただけると分りやすい。そして、数字だけじゃないチャート図みたいな感じの形で出していただけると理解しやすいという気がしました。細かな数字よりは見やすいグラフのほうが、数字はもちろん必要だけれども数字だけではなくてそのようにしていただければなと思います。それでは次の議題にうつります。施策評価結果について、事務局より説明願います。

【企画調整課 菅野係長】 資料 4に基づき説明（略）

（中村会長） 全部で31の施策がありますが、27年度には新規事業を企画しても目標達成は難しいという施策が5つあります。そういった指標が乖離してるものなどを見直しをするということですね。

（企画調整課長） はい。

（中村会長） 何かございませんでしょうか？時間も大分押し迫ってきましたので次の議題に移りたいと思います。事務事業評価について事務局説明をお願いいたします。

【企画調整課 菅野係長】 資料 5に基づき説明（略）

（中村会長） どうもご苦労様でした。今後の審議会の中で検討していくと、今のご説明にもありましたように大変細くなる性質のものですよね。逆に審議会では何が問題なんだと、どこを改善したいと思っているのかポイントだけを出して下さい。そうでないとみんな分からないし、行政の職員ではありませんから話しようが無いです。行政が行政評価を進めるうえで詰まっていると、この辺を改善したいと、ポイントだけ挙げてもらおうと話しやすいと思います。そういうふうをお願いします。

（企画調整課長） 要点をしぼって、検討事項として挙げて欲しいということですね。

（中村会長） はい。では、この点で他に何か無いですか。無ければ、以上で議事をおわります。

【6 閉会】

（企画調整課長） 以上をもちまして第1回総合計画審議会を閉会といたします。